

「脱原発をめざす首長会議」と「英国・アイルランド脱原発自治体連合

共同メディアスリリース

2023年3月11日

福島原発事故から12周年の前夜、日本と英国・アイルランドの地方自治体首長ネットワークが原発に反対する国際パートナーシップに署名



報道関係各位

日本の地方自治体首長とその経験者で構成する「脱原発をめざす首長会議」と、英国・アイルランドで同じように脱原発に向けて取り組んでいる首長(代表者)が構成する「英国・アイルランド脱原発自治体連合」(NFLA)は3月10日(日本時間3月10日夜)、それぞれの国で原子力発電事業に反対するために協力することに同意し、覚書に署名しました。

NFLA 運営委員会は本日(3月10日)会合を開き、議長であるローレンス・オニール氏が代表して合意書に署名しました。「脱原発をめざす首長会議」からは、世話人の1人で、櫻井勝延・福島県南相馬市議が調印式にオンラインで出席し、署名しました。櫻井氏は震災当時、南相馬市長を務めており、国際的な注目を集めた人物です。

日本の東北地方で、福島第一原子力発電所が大災害に見舞われてから12年となる3月11日の前日に、この調印式を行ったのは意義深いことです。この発電所は、2011年3月11日、地震と津波に襲われ、発電所を冷却するために必要な電力が完全に失われました。その結果、3つの原子炉がメルトダウンし、3件の水素爆発が起き、1、2、3号機の原子炉から放射線が放出される事故が発生しました。

地震と津波および原発事故は、住民の死亡、負傷、長期的な慢性疾患、大規模な地域社会の放棄と移住、地域経済の崩壊、環境破壊という悲劇の連鎖をもたらしました。空気中に放出された放射性物質により、政府当局は半径20マイルの周辺地域から154,000人を避難させました。近隣の地域社会への全体的な影響を鑑み、この事故は、1986年のチェルノブイリ(チェルノブイリ)での事故と同等の、国際原子力事象評価尺度レベル7と分類されました。

それから12年経った今でも、日英両政府はエネルギーミックスの一環として原子力発電に執着しており、両国の閣僚は最近、新しい発電所の開発、古い発電所の運転寿命の延長、および核廃棄物の投棄を支持する発表を行っています。日本においては、壊れた福島原発を冷却するために何年も使用されてきた100万トンを超える汚染処理水が、まもなく太平洋に投棄されるという恐ろしい見通しが含まれています。

覚書への署名をもって、両団体は次のことに同意しました。

- ・原子力発電所の新設阻止に取り組む
- ・老朽化した既存発電所の閉鎖を求める
- ・核廃棄物の再処理と投棄に反対する
- ・再生可能エネルギーを推進する
- ・2011年の福島第一原発事故の犠牲者、および太平洋とオーストラリアにおける英国による核実験の犠牲者となった退役軍人および民間人のために正義を求めるそれぞれの国の取り組みを支援する
- ・情報を交換し共有する
- ・その他の核関連の問題について国際的な連帯を示す

NFLA では今後、定期的にオンライン会合を開催したり電子メールでの頻繁なコミュニケーションを行って共同の取り組みを推進します。同時に、日本政府の閣僚に対し、福島の放射能汚染水の海洋投棄を支持する決定を非難し、再検討を求める文書を直ちに送ることも決定しました。また、福島原発事故 12 周年にあたる明日抗議イベントを行う英国各地の反原発活動家に対して連隊のメッセージを送りました。

本日のイベントについて、脱原発をめざす首長会議の櫻井勝延・世話人は次のようにコメントしました。

「2011年3月11日の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故により、南相馬市では6万人以上が避難を余儀なくされました。現在でも3,500人以上が家に帰ることができません。同じような原発事故が起こらないよう、原子力のない世界を作るための国際的な取り組みに英国の人々と協力していきます。」

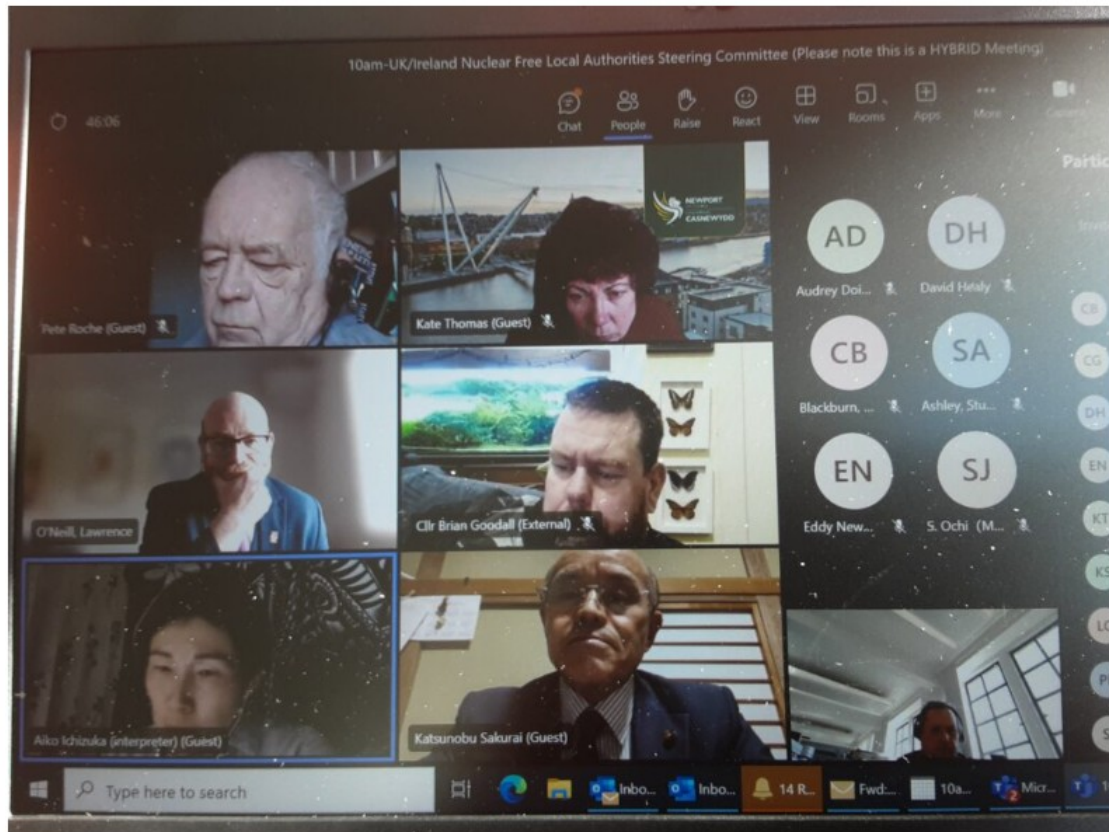
NFLA のローレンス・オニール委員長は、次のように述べました。

「NFLA は国際的な視野に立ち、原子力ではなく再生可能エネルギーに基づく将来のビジョンを共有する他の団体と、まとまった意見をもって話したいと考えています。

福島原発事故の前夜は、脱原発を目指す首長会議とのパートナーシップを締結するのにふさわしい時です。2011年3月11日に災害が発生したとき、私たちは自然の力が人間社会と沿岸の原子力発電所にどれほど壊滅的な影響を与えるかを目の当たりにしました。福島の人々は、12年経った今でも苦しんでいます。

NFLA は、原発事故と核実験の犠牲者の正義を求め、核のない再生可能な地球の未来を実現するために、日本の脱原発首長会議のパートナーとして活動できることを誇りに思います。」

<覚書>



Meeting participants

* 英国・アイルランドのNFLA は各地で約40の評議会をつくり、国への働きかけや地域の問題に取り組む活動をしています。

* 脱原発をめざす首長会議は2012年3月に発足し、現在、約100人の現職首長と首長経験者がメンバーとなっています。